

令和7年6月18日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長
明石欣也 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願
い
申し
上げます。

記

1. 公募する職と人数

准教授、講師または助教 1名

2. 所属

生命環境農学科 生命環境農学講座 植物環境化学教育研究分野

3. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者 (着任までに取得見込を含む。)
- (2) 植物環境化学分野での研究と持続可能な農業生産への応用に関する、以下のような教育・研究に熱意を持って取り組める人材
 - 1) 環境中における栄養塩、無機元素の動態に関する研究
 - 2) 栄養塩、無機元素を要因とする植物ストレスに関する研究
 - 3) 栽培不適地における持続可能な農業に関する研究
- (3) 鳥取大学農学部教員選考基準 (資料1) を満たしていること。
ただし、助教での採用を希望する場合には、着任までに博士の学位を取得する予定の者も含む。
- (4) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程国際乾燥地科学専攻を担当できること (資料2)。

- (5) 全学共通科目・一般教養科目（化学）等を担当できること。
- (6) 教育職員免許状関係授業科目の化学実験演習等を担当できること。
- (7) 授業及びその他の業務に支障のない日本語能力を有すること。

※資料1および2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。[\(https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/\)](https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/)

4. 担当授業科目等

- (1) 学 部：農学部 生命環境農学科

教育コース：国際乾燥地農学コース

教育研究分野：植物環境化学

植物環境ストレス学、無機化学、国際乾燥地農学技術英語 I・II・III（分担）、国際乾燥地農学概論 I（分担）、国際乾燥地農学実験 II（分担）、国際乾燥地農学実習（分担）、国際乾燥地農学演習（分担）、生命環境農学演習 I・II、卒業研究

全学共通科目・一般教養科目：化学

教育職員免許状関係授業科目：化学実験実習 等

- (2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士前期課程 国際乾燥地科学専攻

教育研究分野：植物環境化学

乾燥地栽培環境学特論（分担）、国際乾燥地科学特論 II（分担）、国際乾燥地科学特別演習 I・II（分担）等

5. 契約期間・待遇

- (1) 任期を定めない。
- (2) 年俸制（本学の定年は65歳です。給与、勤務時間、休日及び保険等については、本学の規程に基づき決定します。）

（参考）鳥取大学年俸制教員給与規程

https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki_honbun/u095RG00000655.html

（参考）鳥取大学職員就業規則

https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki_honbun/u095RG00000319.html

※年俸制に関してご不明な点は下記にお問い合わせください。

担当：総務企画部人事課給与係

TEL：0857-31-5014

E-mail：ge-kyuyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

6. 提出書類

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 履歴書（記入要項参照） | 1 通 |
| (2) 調査書（記入要項参照） | 1 通 |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷（複写も可） | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要（2,000 字程度） | 1 部 |
| (5) 教育研究に対する抱負（1,200 字程度） | 1 部 |
| (6) 推薦者がある場合は推薦書 | 1 通 |
| (7) 学位記の写し又は学位取得（見込）証明書 | 1 通 |
| 2026 年 3 月に学位取得予定の者は指導教員の所見 | 1 通 |

※記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。
(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

7. 応募締め切り

令和 7 年 8 月 22 日（金） 必着

8. 選考方法

書類選考の後、最終候補者によるプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

9. 採用予定年月日

令和 8 年 4 月 1 日

10. 書類送付先及び問い合わせ先

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部 生命環境農学科

植物環境化学教育研究分野教員 予備選考委員長 山田 智

電話：0857-31-5369

E-mail：syamada@tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。なお、応募書類は原則返却いたしません。著書等の返却を希望される場合は、その旨をお知らせください。

11. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

<https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

- ・鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/worklife/>

- ・鳥取県の「子育て王国とっとり」

<https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 生命環境農学科には、教員組織として生命環境農学講座があり、教育コースとして国際乾燥地農学、里地里山環境管理学、植物菌類生産科学、農芸化学の4つのコースがあります。国際乾燥地農学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

【教育目的】

鳥取大学の歴史ある乾燥地研究から得られた技術や知見を基に、乾燥地を中心とした開発途上地域における環境・農業問題の本質を理解し、地球規模課題の解決に貢献できる人材の育成を目指します。

乾燥地を中心とした開発途上地域の農業を取り巻く環境問題に関して、自然科学分野から社会科学分野までの専門的基礎知識を幅広く修得し、問題の本質を見抜く力を養います。さらに、環境に対する計測技術や評価手法を修得することにより、環境・農業問題の解決能力の向上を図るとともに、協働して実践する力を養います。

【教育目標】

乾燥地における持続的農業生産・農業開発、砂漠化対処、砂漠緑化および環境保全に関する知識と技術を学ぶ、日本で唯一の教育コースです。乾燥地を中心とした開発途上地域では、厳しい自然環境に起因する農業生産の問題、そこに暮らす人々の生活改善の問題、人々の営みにより発生する環境劣化の問題など、その解決のために農学分野が果たすべき役割は多くあります。これらの問題解決に貢献するためには、幅広い知識に加えて、様々な国の人々と議論し、協働して取り組める実践力が必要となります。本コースでは、ディスカッション技法を必修科目に設けるとともに、海外フィールド実習（国際乾燥地農学実習）を実施することにより、学生のコミュニケーション能力の向上とチャレンジ精神の醸成を図ります。また、全学教育プログラムであるグローバル人材強化プログラムに積極的に協力し、グローバルな人材育成を図ります。

2. 将来的に、カリキュラム・教育コースを再編した場合は、担当講義・担当教育コースが変更となる場合があります。
3. 本学科の教員は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科、山口大学大学院創成科学研究科のそれぞれの博士前期課程（修士課程）によって編成される鳥取大学大学院連合農学研究科において、博士課程の教育・研究指導も担当しています。

以上